

特集記事

郷土活性の源は、「立志勤勉」の継承

今や、地方創生という言葉が新聞に載らない日はありません。つい最近知りませんが、昨年5月、元総務相の増田寛也氏が座長を務める「日本創成会議」が具体的な自治体名を挙げて「消滅可能性都市」を発表しました。その数896、実に全国1800ある市区町村の半分です。

新潟県では18市町村ですが、新発田市・五泉市・阿賀町と近隣の市町は軒並みです。幸いにも(一)阿賀野市は外れていますが、運命共同体でしょう。日本は少子高齢化が進み、その行く末は多難と誰もが思っています。なかなか実感できませんでしたが、さすがに自分たちが住んでいる地域が「消える」と名指しされては、これは大ショックです。

ならばどうするか?今更、産めよ増やせよと叫んでみても、後の祭り。100年以上の耐久性が実証されている屋根素材の傑作「やすだ瓦」。修繕・修理の簡便性・維持管理の容易性・深みのある美観性・長期コストの削減性、等々、最高に優れた屋根工法です。が近年は建築に携わる者の無知

6月14日(日) 10:00~16:30
場所:阿賀野市保田・庵地区
国道49号線、のほりが目印です。
前日は陶器灯籠点灯をおこないます。
6月13日(土) 19:00~



日時: 6月14日(日) 10:00~16:30
場所: 阿賀野市保田・庵地区
国道49号線、のほりが目印です。
前日は陶器灯籠点灯をおこないます。
6月13日(土) 19:00~

地震国日本の建物の安全性を如何にして

最近、北海道大学の分析で8000人以上の死者を出したネパール地震の揺れは、震度5弱から6弱相当だったことが発表されました。日本の耐震基準では震度5で壁のひび割れなし、6強から7で倒壊なしが基準です。倒壊を防ぐ技術の発想は、建物を頑丈に固める「剛」と、揺れを柳のように受け流す「柔」で、「耐震」「制震」「免震」の3つに分かれています。以前は建物の壁を増やしたり、筋交いなどで補強したり、骨組みの接合部を固める手法が採用されてきました。1995年の阪神大震災をきっかけに広がったのが制震や免震です。制震は建物の構造内部にダンパー

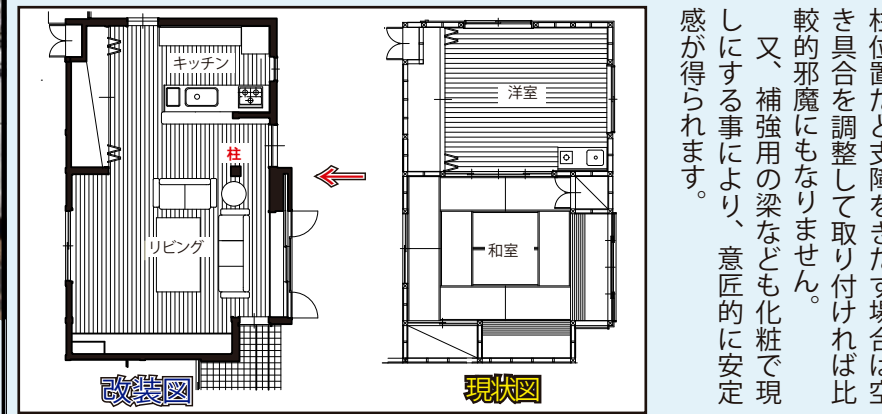


地方の人口減少時代に即した新ビジネスモデルの構築が急務。それは「匠の技」を活用した高付加価値の性能・安心を提供する事。

と呼ぶエネルギー吸収装置を取り付け、変形を抑える方法です。免震は地面と建物の間にゴムと鋼板の装置を挟み、揺れを和らげる方法です。免震は木造の家では費用の面からも現実的ではありませんが、制震は以前に当社でも経験済みで有効な方法です。その前に、日本の伝統木造構法は、木の弾力性を利用した制震構法なのですが、無視されています。



リフォームのイメージ。お任せください。



日本の家づくりの未来を考える増田一眞著書より要約
「木造における構造設計の不在」 Part5
木構造といえども、構造計画を練り、構造計算を行った上で、軸組構成とティエールを明示し、大工さんとよく打合せした上で、工事を監理する、という至極当然のことが、現実には殆ど行われていないのである。意匠屋といえども本来は、木造

に限らず、構造の基本くらいは心得ておくべきなのに、日頃から構造屋まかせ職人まかせの癖がついている。日頃頼みの構造屋は不在で、やむなく怪しげな図面を書いて、後は工務店まかせ、が大半の実状である。その上、軸組計算のような怪しげな方法で、設計側にも施工側にもその跡を埋める者がいないのである。



株式会社 研創

「結の会」

読者の皆さまからの投稿欄
「桜日本」の阿賀野市プロジェクト
ここ阿賀野市は自然の宝庫!お米良い土から育つ産物。山と温泉郷。旨いお酒。ぐるりと見渡せばシベリアから毎冬、幼鳥の白鳥を含め数千羽小さな瓢湖で安心して羽根を休める不思議。安田の新江の桜は、そこに暮らす方々のお世話で誇り高く枝を広げ、お花見に多くのファンが訪れます。

何よりも良い人たちが暮らせる恵みをふるさとに感謝します。歴史については詳しくは知らないけれど、越後の桜の名所といえば江戸時代には、瓢湖が名高く大層な賑わいだっただか(いつかこの地の歴史と一緒に勉強させなせんか)。

現在の瓢湖の桜は、70年前に有

志の方々が植えられ、今は美しくも年老いました。祖先が将来の私たちに喜びや繁栄を残して下さいた財産のようです。美しいふるさとを将来の子供たちに残す役目は、60歳以上中心の私たちの仕事かもしれません。先達かやってくるように。

さて、阿賀野市に結ゆい桜という新種の桜が生まれました。この桜を中心に「結の街・桜日本」。「観光阿賀野市」はいかがでしょうか?日本・世界中から、阿賀野市の桜に引き寄せられ、満開の桜と「おもてなしの心」に幸せを感じてもらえれば最高です。昔の人に学び、先ずは大人が手本を示し、子供たちの世代と受け継がれるように。阿賀野市中央町 佐藤陽子

新潟県・ふるさと古民家再生事業
「古民家再生の設計」
監理に100万円の補助
県では、地域の歴史的な文化や伝統的木造建築技術の維持・継承を図ると共に、再生現場における技術研修を通じて建築技術者の育成を推進するため「ふるさと古民家再生事業」を創設しました。設計・工事監理費の2分の1、上限100万円を補助します。対象建築物は、

「日経トレンディ」別冊より要約
「瞑想と催眠のススメ」
山崎靖男
山崎氏はかつて、ソニーの生命情報研究所で「心の研究」をしていました。創業者・井深大氏は「21世紀は、心の豊かさが必要な時代」と言い、病気にかからない体をつくる研究をしていたのです。脳の快楽中枢を刺激すると、免疫力が上がることは分かっています。その効果的方法が、実は「瞑想」「催眠」です。「禅」も瞑想状態に入る方法の一つです。他にもヨガ、密教瞑想、神道などがあります。

心理学や脳生理学を応用した、新たな瞑想方法が開発されています。音叉が共鳴するように、ある特定の音、言葉、エネルギーを送ることで、容易に瞑想へと至ることが出来ます。約3か月で、日常的に活かす方法を身に付けることができます。

古来から伝わる瞑想法と、最新の科学技術の融合で、脳の働きを飛躍的に高める瞑想には、まだまだ大きな可能性があります。

天風式座禅法「安定打坐」、その解説と実習のCDを、千円+税で販売しています。是非お試しを。

研創の家づくりの特徴

67 構造設計という機能 Part 建築構造の性能
家は、人の健康と生命、財産を護る「建築物」です。建築物が成立し、実体として存在するために最低限必要となるのは「構造」です。そこで重要となるのが「構造設計」の技術力です。構造設計とは「何を建てるか」というより、「如何に建てるか」を設計するものです。

建築計画や材料科学の面にも目を向けなくてはなりません。構造設計の作業過程で関わる性能項目は、①安全、②機能、③経済の三点です。「安全性」とは、自然現象から人間の生命を守る度合いを示すもの。当然のごとく科学的・客観的な根拠に基づかななくてはなりません。「機能」性とは人間の生活を豊かにする度合いを表すもの。

「経済」性とは、一定の安全性を実現するために必要な費用のコントロールで、初期建設コストだけでなく、設計費や運営費、維持管理費も含めた相対的なものを指します。が、現実に行われている構造設計の実状はどうでしょうか?

「健康と幸福の道」
天風哲学・心身統一法
現代人の不幸の原因を一言でいえば、生命力が活きる力の減退にある。詳しくいえば生命を構成する「心」と「身体」の不調和と消極化である。この心身のアンバランスと不活発な状態が生命力の減退を招き、あらゆる不幸を生み出す根本原因となっている。従って生命力の充実とその完全発現こそ、真人生建設の基本的要件である。

で唯一の存在であるという事である。世界の人類の中に、自分と全く同じ人間は存在していない。自分にとって、自分だけがかけがえのない貴重な存在であるという認識と自覚、これが第一である。

第二に自分の人生は一度きりのもので、やり直しのきかない大切なものであるという事である。

第三に現在という時は絶えず流れ移り、未来から過去の中へと繰り込まれていく。そして去った時は再び戻らない。

過去を及ばず、未来はきたらず、現在こそあなたが最も大切にしなければならぬのだ。この心かけを忘れてはならないのである。それにはどうしても自分の生命力、即ち六つの力を充実させるその実際方法と手段を確実に知り、それを実行に移さなければならぬ。

構造技術者は工事現場での絶え間ない自己研鑽が要求され、力学の理論と経験のバランスよい構造感覚が不可欠となります。実際の建築物は個々に異なり、機械製品のように在庫もきかない、注文者の要求も異なります。構造設計という行為は力学的な側面のほか、



日本の木構造の特性は構造体の美しさを表現する事。その為には、木の特性を熟知するハイレベルな感性が問われる。

「経済」性とは、一定の安全性を実現するために必要な費用のコントロールで、初期建設コストだけでなく、設計費や運営費、維持管理費も含めた相対的なものを指します。が、現実に行われている構造設計の実状はどうでしょうか?

「健康と幸福の道」
天風哲学・心身統一法
現代人の不幸の原因を一言でいえば、生命力が活きる力の減退にある。詳しくいえば生命を構成する「心」と「身体」の不調和と消極化である。この心身のアンバランスと不活発な状態が生命力の減退を招き、あらゆる不幸を生み出す根本原因となっている。従って生命力の充実とその完全発現こそ、真人生建設の基本的要件である。

「瞑想と催眠のススメ」
山崎靖男
山崎氏はかつて、ソニーの生命情報研究所で「心の研究」をしていました。創業者・井深大氏は「21世紀は、心の豊かさが必要な時代」と言い、病気にかからない体をつくる研究をしていたのです。脳の快楽中枢を刺激すると、免疫力が上がることは分かっています。その効果的方法が、実は「瞑想」「催眠」です。「禅」も瞑想状態に入る方法の一つです。他にもヨガ、密教瞑想、神道などがあります。

心理学や脳生理学を応用した、新たな瞑想方法が開発されています。音叉が共鳴するように、ある特定の音、言葉、エネルギーを送ることで、容易に瞑想へと至ることが出来ます。約3か月で、日常的に活かす方法を身に付けることができます。

古来から伝わる瞑想法と、最新の科学技術の融合で、脳の働きを飛躍的に高める瞑想には、まだまだ大きな可能性があります。

天風式座禅法「安定打坐」、その解説と実習のCDを、千円+税で販売しています。是非お試しを。